

# 令和5年度 学校関係者評価報告書

学) 曙学園 あけぼの幼稚園

## 1. 本園の教育目標

別紙あけぼの幼稚園教育課程参照

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

	課題	具体的な取り組み方法
1	資質向上のための研修	学びたい分野の講師を招いて、園内研修を実施する。
2	地域との関わり	感染対策を工夫して、地域の方と交流できる活動を計画、実施する。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※詳しい評価項目は別紙自己点検・自己評価表参照

評価項目	評価	取り組み状況・結果
園の教育理念・目標・方針の理解	A	園の教育理念を理解し、指導計画に反映している。
教育課程と指導計画の作成	A	本年度重点的に取り組む課題の「年齢や、発達に応じた身体をしっかりと動かす遊び、ルールのあるゲーム遊びなどを積極的に取り入れ、一年間の発達の流れを考慮し体力向上や、遊びながらルールを守り、友だちとの関わりが深まるよう、指導計画をたてる。」は年間を通して、計画され、実施できている。
環境構成	A	幼児が安全で清潔な環境の中で心身ともに安定し興味関心を持って、遊びこめる環境づくりができている。
子ども理解	A	一人一人の子どもの様子を観察、理解し、発達を見極め、寄り添うよう努めている。
指導、援助と関わり	B	担任教員については、ほぼ達成できているが、保育補助の職員については、出来ていない、または、分からないと感じている職員が多い。
特に配慮が必要な幼児への支援	A	支援を要する子どもの個別指導計画・支援計画を作成し、その子どもの必要とする支援ができている。
保育内容	A	各領域がまんべんなく達成される保育が出来、子どもたちが生き生きと自分で、アイデアを出したり、工夫する姿が見られた。
健康や安全への配慮	A	本園の学校安全計画に則り、年間を通しての安全計画が実施できた。

幼児への人権の配慮	A	子どもたちの人格を否定したり、プライドを傷つけないように気をつけながら子どもと関わっている。
教師間の連携	A	園内研修通して子どもの共通理解し対応している。
資質向上のための研修	B	講師を招いての園内研修が実施できなかった。研修後の研修記録を保育に活かしていない、若しくは分からないと感じている職員がいる。
保護者への対応と家庭支援	A	保育参観や、個人懇談会など実施し、日々の子どもの様子をお知らせする便りなど年間を通して実施することが出来ている。
地域との関わり	A	少しずつ地域の方や、地域の学校との交流が増えてきている。

A 達成できている      B 達成できていない      C 分からない、該当しない

#### 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

今年度の取り組む課題について

##### 1 資質向上のための研修について

「学びたい分野の講師を招いて園内研修を実施する」という課題は、今年度実施することが出来なかったため、来年度再度取り組む課題としてあげたい。

##### 2 地域との関わり

「感染対策を工夫して地域の方と交流できる活動を計画、実施する」は、少しずつ地域の方との交流が復活し、季節の植物を教えてもらったり、農家の方に野菜の育て方を教えてもらったりすることが出来、地域の学校との交流も短い時間ながら出来た。引き続き、交流回数を増やし、地域のご年配の方と昔の伝承遊びなどの交流も企画したい。

評価項目について

##### 1 指導援助とかかわり

「指導計画に沿って適切な援助を考えながら遊びを広げたり、子どもの学びを深めているか」ということについて、保育補助の職員も園内研修に参加し、共通理解を深め、よりよい援助ができるようにしていきたい。

##### 2 資質向上のための研修

「教職員で共有した研修記録を保育に活かしているか」について、活かしていない、若しくは分からないと感じている職員がいるため保育補助職員を含め全職員で理解し、本園の課題を明らかにし保育に活かしたい。

#### 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	指導援助とかかわり	職員全員参加の研修会を設け、教育課程、指導計画の共通理解を図り、場面での適切な援助のあの方を担当と共通理解し子どもに関わる。
2	資質向上のための研修	研修後の研修記録を全職員で共通理解し、課題を明らかにし、保育に活かす。 学びたい分野の講師を招いて、園内研修を実施する。

## 6.学校関係者の評価

- ・仏教保育に則って、保育計画しており、また地域の清掃活動もしており、子どもの成長に大きな影響があると思う。これからも責任もって子どもたちと関わってもらえるよう望む。
- ・子どもの様子を見て伸び伸びと園で活動している姿が見られる。教師も子どもに目を向けて、頑張っており、園全体的に教育に熱心な様子が見て取れる。
- ・幼稚園の職員が園児に優しく、楽しく寄り添っているように感じる。
- ・とても良い環境の中で、園児一人一人が伸び伸びと遊んでいる。職員も教育熱心で、園児に教育している。
- ・園内がいつも清潔である。
- ・子どもが自ら考え、工夫して遊べるような取組を教師がしている。
- ・自然が多く、季節の良さを生かした環境が構成されている。
- ・子ども一人一人に応じた教育をしている。
- ・教師、保護者でコミュニケーションが行われている。(連絡事項や生活面、病気や園での様子など親しみやすい)
- ・自然豊かな環境を活かした、安全で温かい園だと感じる。
- ・どの職員も笑顔で挨拶してくれ、安心して子どもを預けることができる。
- ・特別支援計画も、教師の温かい支援の視点と細やかな気付きに感銘を受ける。
- ・子ども一人一人の個性と成長をしっかりと見て、それらを保護者と共有している。

以上抜粋